

平成23年行政事業レビューシート (警 察 庁)

事業名	高齢者の安全なモビリティ確保の在り方及び高齢者の交通モードに応じた新たな交通安全施策の方向性に関する調査研究		担当部局庁	交通局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～平成22年度		担当課室	交通企画課		交通企画課長 入谷 誠		
会計区分	一般会計		施策名	4 安全かつ快適な交通の確保				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	進展する高齢社会に対応できる交通安全対策の基礎とするために、現在開発中の新しい移動手段を含む各移動手段の特性、利用者の特性や地域性に応じた移動手段の選択、高齢者の特性を踏まえた交通安全教育手法や交通安全施設の在り方等に関して、有識者会議の委員から意見を求めつつ調査を実施し、提言を取りまとめる。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	新たな移動手段の走行実験、アンケート調査結果の分析、専門委員との検討委員会の実施等を行い、報告書を作成した。 [平成21年度～平成22年度計画の2年度目]							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	11	6	-	-	
		繰越し等	-	0	0	-	-	
		計	-	11	6	-	-	
	執行額		-	5	5	-	-	
	執行率(%)		-	45%	83%	-	-	
	成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度
(成果目標) 高齢者の特性を踏まえた交通安全教育手法、交通安全施設等の在り方に関する報告書のとりまとめ (成果指標) 報告書数		成果実績	件	-	1	1	-	
		達成度	%	-	100%	100%	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	「高齢社会の進展等に対応した安全なモビリティ確保のための交通安全施策に関する有識者会議」開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	-	4	4 (4)	- ()
単位当たり コスト	10,290千円 / 事業		算出根拠	総事業費				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費 目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業については、警察庁が直接契約していることから、支出先を把握している。 2 見直しの余地 本事業は、高齢社会に対する安全対策のために必要な調査研究であり、今後の交通警察行政に生かされるものとなった。本実施に当たっては、一般競争入札で行っており、競争性の高い契約の実施に努めている。		
予算監視・効率化チームの所見			
		1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分であると認められる。 2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 交通安全対策は、我が国の交通環境における安全性及び効率性を高めるためにも一層推進していかなければならない分野であることから、引き続き予算の適正な執行に努められたい。 3 レビューシートのわかりやすさに関する所見 おおむねわかりやすい。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
特になし(事業の終了)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

警察庁
5百万円

調査研究事業を委託



【一般競争入札(総合評価落札方式)】

A. 社会システム(株)
5百万円

受託した調査研究事業を実施

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.社会システム(株)			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	研究者及び研究補助員	5			
	計		5	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会システム(株)	調査研究業務委託	5	1	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

高齢者の安全なモビリティ確保の在り方及び高齢者の交通モード に応じた新たな交通安全施策の方向性に関する調査研究

平成20年の交通事故死者に占める高齢者の割合は約48.5%（近々半数を超えると予想）
歩行中死者、自転車乗用中死者とも約7割を高齢者が占めている
歩行補助車、電動車いすの他、最近は自転車タイプの歩行補助器具等新たな高齢者用交通手段が開発される

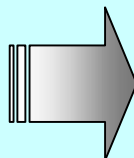
今後、高齢者のモビリティ確保のための交通モードの一層の多様化が予想される

高齢者の事故防止のため各交通モードに関する安全対策の検討が必要

高齢者の安全なモビリティの在り方、各交通モードの実態についての調査検討
検討結果を踏まえた高齢者の各交通モードに対する交通安全施策の方向性の検討、提言

平成21年度

- 有識者会議設置・開催（4回）
- 各交通モードの実態調査
- 地域性を踏まえた交通手段の実態調査
- 交通安全施設についての意識調査
- 安全なモビリティの在り方の検討
- 検討結果中間報告書作成



平成22年度

有識者会議開催（4回）
各交通モードに応じた交通安全施策の検討
地域性を踏まえた交通手段の在り方の検討
交通安全施設の実証的調査・検討
提言の取りまとめ
調査研究結果報告書作成